



えんだより 9月

社会福祉法人鎌倉たんぽぽ会 たんぽぽ共同保育園



風が秋らしくなり、虫の鳴き声も変わってきました。夕暮れから聞こえてくる優しい鳴き声を聞くと、なんだか懐かしく、子どもの頃を思い出すような気持ちになります。たくさん遊んだ夏の疲れも出てくる時期ですので、体調管理には十分に気をつけて過ごして下さいね。

今年の夏はプールに入れる回数は少なかったのですが、それでも十分に水に親しみ、体をたくさん使って遊ぶことができました。水が苦手な子ども、慣れてくると自分のペースで遊びながら笑顔もいっぱい見せてくれましたよ。園庭では毎日どこかのクラスがどろんこ遊びをやっていて、裸足で土や泥の上を歩く感覚、持ちよさを感じています。手を使い、道具を使いながら、泥の感触や重さ、水を混ぜた時の変化を子どもたちなりに科学しながら遊んでいます。体と頭、体の感覚全部を使い泥んこになって遊ぶという活動は、乳幼児期にしか味わうことのできない貴重な経験になることでしょう。

毎年全国の保育者が集って交流、学習をする、全国保育団体合同研究集会「合研」に、たんぽぽからも毎年数名が参加しています。今年は福島で開催予定でしたが、感染拡大防止のため中止となりました。合研は、私たち保育者にとって大切な学びの場であり、全国の保育者と関わることができる交流の場となっています。今回はWEB合研となり、私たちも画面を通して参加しました。保育の仕事は、日々子どもたちの姿や関わり合いの中から、保育者自身が学ぶことの毎日です。常に自分の保育を振り返りながら、子どもたち、保護者にとってより良い援助や支援を行っていくために学習は欠かせません。これからも職員一人ひとりの学びを、子どもたちに素敵な保育でたくさん伝えていきたいと思います。

避難訓練



地震、火災、不審者、最近では風水害も増加しています。様々な状況への対応を確認するため、定期的に避難訓練を行います。自分の身を守るための「だんご虫のポーズ」や「おかしも」（押さない・駆けない・しゃべらない・戻らない）の約束を守ることを繰り返し子どもたちに伝えています。ご家庭でも避難時の約束事や、防災グッズの確認、もしもの時の連絡方法などについて話し合う機会を作ってみてください。

交通安全



保育園では毎日のようにお散歩をします。子どもたちの安全を第一に考えて散歩先を決め、年齢、発達に応じた歩き方を子どもたちに伝えています。去年は、鎌倉警察署の交通課の方に来ていただき、子どもたちに安全な道路の歩き方などを教えてもらいました。今年は開催することはできませんが、日々の保育の中で安全について子どもたちと一緒に考え、行動することを大切にしていきたいと思えます。ご家庭でもお子さんと歩く機会には、身近な景色や会話も楽しみつつ、安全について一緒に考え、伝えてあげてください。

お知らせ



- ・8月の夏季協力依頼日へのご協力ありがとうございました！
- ・登園時の手の消毒、マスクの着用は引き続きご協力お願いします。また、毎日のお子さんの検温と、体調に変化がある場合の連絡、は忘れずにお願いします。
- ・「新型コロナウイルスに伴う対応」につきましては、先日配布しました第2回運営委員会ニュースにてご確認ください。

「たんぽぽの絵本棚」



「そらは あおくて」

作:シャーロット・ソトウ

絵:杉浦さやか

♪時代は変わっても、昔も今も変わらない、
優しい景色と家族の温かさに出会えます。

